



目黒南中だより

令和8年度 第1号

令和8年4月10日発行

目黒区立目黒南中学校



目黒南中学校ホームページ

【教育目標】 自立 協創 信頼

目黒南中学校2年目 ～革新 自己調整力の育成を目指して～

校長 金子弘樹

146名の新入生を迎え、全校生徒413名、13学級で令和8年度が始まりました。目黒南中学校2年目、新年度を迎え、新しい生活に緊張した生徒の中にも明るい笑顔とあいさつが校外外に広がり始めています。

現在の世界情勢が示すように、これからの社会は変化の激しい社会、多様な社会と言われています。このような社会に対応するために、心の耐力と協働する力を土台として自立する力と柔軟に対応する力をはぐくむことを目標に、挑戦から革新へ変化を恐れず様々な教育活動に取り組む1年にしたいと思います。

企業やスポーツ界でも求められている力の一つに自己調整力があります。自己調整力とは、見通しをもち、実行し、そしてその結果を振り返る力です。自己調整力は企業やスポーツ界だけでなく、学習活動においても学校生活においても重要な力であり、目標達成や問題解決、そして自身の成長のためにも必要な力の一つと言われています。

学習において自己調整力を高めるには、まず、何を学ぶか、どのくらい時間をかけるか、どの方法で学ぶかなど、明確な見通しをもつ必要があります。また、見通しをもとに計画を立てることによって、目標に向けての行動がより具体的になります。そして、実行したことを振り返ることによって、自分が設定した目標にどれだけ近づいているか、習得した知識の理解が深まっているかを確認することができます。さらに、なぜできたのか、なぜ思うように進まなかったのかなどの要因を考えることによって、次の考え方と行動を修正することが可能になります。また、新たな目標や課題に挑戦しようとする意欲やモチベーションの向上にもつながります。

この自己調整を実施し、継続していくため、さらにはよりよい学校生活を過ごすためにはサポートが必要です。学習活動や学校行事、部活動などにおいて、お互いの自己調整の取組を認め合い、支え合い、そして安心して学び合う学習環境を創り上げる雰囲気作りが大切です。この雰囲気作りが一人一人のサポートにつながるはずです。

本校の教育目標である「自立」「協創」「信頼」の育成を目指して、教育活動を推進します。保護者の皆様や地域の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

